

# THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **766** August 2022

## Special Issue : Poverty Issues in the Press and the Current State of Public Opinion: Ten Years since “Welfare Bashing”

- Introduction to the Special Issue .....SUZUKI Munenori  
 COVID-19 Pandemic and the Deserving Poor:  
 Analysis Using a Vignette Survey of the General Public  
 .....YAMADA Soshiro, ABE Aya  
 How Japanese Newspapers Describe Poverty? ..... HORIE Takashi  
 How Coverage of Poverty Has Been Changed between “Lehman Shock” Period and  
 “COVID-19 Pandemic” Period in Japan? ..... MIZUSHIMA Hiroaki

### Article

- The Transformation of Youth Policy in Japan and South Korea :  
 Why Did Youth Policy Diverge? ..... PARK Jaeho

### Book Reviews

- UEDA Osamu, *The Development of Production Management System  
 in Japanese Heavy Industry after World War II* ..... TOMITA Yoshinori  
 SARUYA Hiroe, *The '60 Anpo Protests, Intellectuals, Students, Workers:  
 The Historical Sociology of Social Movements* ..... NAKAMURA Katsumi  
 ISHIGAMI Keiko, *The Challenge of Saul Alinsky and Democracy: The Political  
 History of 20th Century Community Organizing in America* ..... OWADA Yuta  
 SEKIGUCHI Teiichi, *A History of White Collar: Workers and Managers  
 in the General Electric Company* ..... SHIMIZU Katsuhiko

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting ..... ENOKI Kazue

The Institute's Activities in April 2022

## OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site: <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail: [oharains@adm.hosei.ac.jp](mailto:oharains@adm.hosei.ac.jp)

編集(兼)発行人

法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読 12,000円(税込)

# 大原社会問題研究所雑誌

766 2022.8

## 【特集】 貧困をめぐる報道と世論の現在 ——生活保護バッシングから10年

- 特集にあたって 鈴木宗徳 1  
 コロナ禍と「援助に値する」貧困—— 一般市民を対象にした  
 ビネット調査を用いた分析 山田壮志郎・阿部 彩 2  
 日本の新聞は貧困についてどのように語ってきたのか  
 ——社説を中心に 堀江孝司 16  
 「貧困」をめぐるテレビ報道はリーマンショック期からコロナショック期に  
 かけてどう変容したのか——生活保護を中心に 水島宏明 31

## ■論文

- 日本と韓国における若者政策の変容  
 ——なぜ両国の政策は分岐したのか 朴在浩 52

## ■書評と紹介

- 上田 修著『生産職場の戦後史』 富田義典 70  
 猿谷弘江著『六〇年安保闘争と知識人・学生・労働者』 中村勝己 74  
 石神圭子著『ソール・アリンスキーとデモクラシーの挑戦』 大和田悠太 79  
 関口定一著『ホワイトカラー雇用史序説』 清水克洋 84

社会・労働関係文献月録 90

月例研究会 榎 一江 94

所 報 2022年4月 95

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と  
課題がわかる貴重なデータブック

最新2022年版 第92集

# 日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点  
 <特集> プラットフォーム労働の実態と課題  
 —法的問題を中心に

- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策

<付録> 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

### 本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



16,500円(税込)  
A5判・上製・536頁

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)  
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F  
 電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

# 日本労働研究雑誌

No.744 2022年7月号 定価 937円(本体852円) 年間購読 11,244円(税込)

## 特集「日本的雇用慣行の中の外国人労働者——エビデンスに基づいた議論」

- 提言 日本的雇用慣行の制度と精神——外国人労働者を巡って 上林千恵子
- 論文 一時的移住政策、国境を越える労働市場、そして日本 佐藤 忍
- 外国人労働者と日本人労働者の賃金格差——賃金構造基本統計調査の分析から 永吉希久子
- 外国人留学生の国内就職支援の改善に向けて 九門 大士
- 非漢字圏出身者と英語コース在籍者の視点から 小山 健太
- 高度外国人材を含む異文化チームのマネジメント
- 紹介 地域における外国人労働者の定着を支援する取り組み 堀 永乃
- 南米系外国人子弟への定着支援をめぐって 嵩 さやか
- 論文 外国人労働者と社会保障制度の課題
- 日本の外国人労働者受け入れをどう捉えるのか？ 是川 夕
- アジアの国際労働市場の実態から 安部 周春
- 紹介 外国人技能実習生の取支検証 樋口 純平
- 書評 梅崎修 著『日本のキャリア形成と労使関係——調査の労働経済学』 石川 祐実
- 論文Today 子供のメンタルヘルスを捉える手法に関する研究 足立 大輔
- フィールド・アイ デンマーク社会の慣行（デンマークから③）

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23  
 ☎ 03-5903-6255

# 労働の科学

Digest of Science of Labour

2022年6月号  
77巻6号

6

定価 1,200 円(税込)  
年間購読 13,000 円(税込)

## 【特集】これが私の仕事です！ 働くこと、それは未来を紡ぐこと

- ◆時代に翻弄されながら翻訳・通訳の仕事に挑む 佐藤史郎
- ◆料理人として食を通じ伝えたいこと 坂倉賢一
- ◆築地場外市場で鮭の専門店ひとすじに 佐藤友美子
- ◆巻頭言 泉 貴嗣
- ◆漂流者たち—クミジヨの肖像— 15 本田一成
- ◆凡夫の安全衛生記・64「先輩方の努力」 積み重ねられてきたこと 福成雄三
- ◆大原孫三郎と清水安三・10 兼田麗子
- ◆芸能従事者の今・12 森崎めぐみ
- ◆ILOインド・南アジアこぼればなし・14 川上 剛
- ◆「#教師のバトン」で伝わる教職員の過酷な勤務環境・13 藤川伸治
- ◆労研アーカイブを読む・77 椎名和仁



〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所  
 TEL: 03-6447-1435 FAX: 03-6447-1436 HP: http://www.isl.or.jp/